

「マコモタケのラーメンとサラダ」の料理教室と試食会が11月18日、山村開発センター調理室で行われました。これは那珂川町マコモタケ研究会と宇都宮市のラーメン店「らあめん厨房どる屋」が主催したもので、大内・久那瀬地区のマコモタケ栽培農家や農業・行政関係者など約50名が参加しました。

ラーメンは那珂川町産のマコモタケのほか県産小麦や那須の白美人ねぎなどを使ったもので、参加者の皆さんは麺をゆでて盛り付けをしたあと、天然鯛を使った香ばしい上品な味のスープやシャキシャキした食感のマコモタケなどの味わいに舌鼓を打っていました。

マコモタケ料理を味わう



第30回県北少年剣道大会

今年で30回目を迎えた県北少年剣道大会が11月20日、小川体育館で開催されました。馬頭剣道スポーツ少年団の岩澤藍丸選手（馬頭）の選手宣誓に続き、県内8市町から集まった18団体177名の少年剣士たちは、日ごろの鍛錬の成果を発揮し、各会場で熱戦が繰り広げられました。

大会は、小学4年生から6年生の男女別に計9組のトーナメントに分れて行われ、那珂川町からは、4年男子第1組で、馬頭剣道スポーツ少年団に所属する菊池滋貴選手（谷川）が第3位に入賞しました。



藤田製陶所及び小砂焼体験センターを会場に10月29日と30日の二日間、秋の陶器市が開催されました。穏やかな秋空の下、地元の方々による餅つきや模擬店なども並びました。町内外から多くの観光客が訪れ、ろくろや絵付けを体験したり、窯元の職人と会話を楽しんだりしていました。

また、12月を迎えて、同製陶所では、暮の風物詩となっている来年の干支の置物づくりがピークを迎えており、辰をかたどった竜には美しい「金結晶」が施され、平穏な年になるようにとの願いが込められています。

小砂焼 秋の陶器市

スポレク「エコとちぎ」2011が開催された11月6日、馬頭商店街では商工祭が行われ、鷺子囃子やさこいソーラン踊りなどのアトラクションや餅つき、消防フェア、お楽しみ福引などが行われました。

また、今年初めて「スー爺サント」の軽トラ市が商工祭と同時に開催されました。大通りの「お祭り広場」に並んだ軽トラの周辺には取れたての野菜や芋類、果樹苗や植木苗などが所狭しと並べられ販売されました。また、石に絵を描く「ストーンペイント」は子どもたちに大人気でした。この日はあいにくの天候にも関わらず、商店街は終日にぎわいを見せていました。

商工祭と軽トラ市がにぎわった馬頭



マイ・チャレンジ



スーパーさかいり



ヌヴォラーリ

地域の人々のかかわりを主とした社会体験活動を通して、望ましい勤労観、職業観を育むことを目的に、小川中学校では、「マイ・チャレンジ」活動を実施、中学2年生63名が23事業所で就業体験をしました。

11月7日から11日の5日間（1日約6時間）に渡る体験を通して、生徒の皆さんは、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、言葉遣いを習得し、学校では学ぶことのできない貴重な体験に真剣に取り組んでいました。

就業体験を実施



わかあゆ保育園



かたくりの郷



小川図書館

第8回広重紅葉まつり

那珂川町商工会まちづくり委員会主催の広重紅葉まつりが11月27日、南町小公園周辺で開催されました。

イベント広場では「ゆめっこ」のよさこいソーランや馬頭中ブラスバンド部の演奏、歌謡ショーなどが披露され、新鮮野菜の軽トラ販売、そば生産組合の新そば感謝祭などが行われました。この日はゆりがねマラソンと同時に開催だったこともあり、大勢の人でにぎわっていました。

また、夕方には金子酒造で「酒蔵コンサート」が行われ、趣のある酒蔵の中でのヴァイオリンの演奏や「石の蔵ビュースタジオ」によるジャズの演奏に聞き入っていました。

※裏表紙に関連記事があります。



美寿々会まほろばがたり 十周年記念発表会

「美寿々民話まほろばがたり」の結成十周年を記念して、11月27日、馬頭総合福祉センターで発表会が行われました。発表では20代から90代までの15名の会員が日頃の練習の成果を披露しました。渡辺恵子会長は、美寿々会主である美寿々すみ子先生による創作民話で、馬頭地区北向田の奇岩を題材にした「福荷山権兵衛」を初披露。唄を交えた楽しく心温まる語り口に、会場は手拍子と笑い声で和やかな雰囲気になっていました。

また、この日満員の会場で集められた募金、13万6294円は東日本大震災復興支援のため町社会福祉協議会を通じて日本赤十字社に寄付されました。

